

ひょうごの 赤十字



2017.11月
November



特集

県内各地で
地域赤十字奉仕団員
研修会を開催



平成29年度赤十字防災ボランティア総合訓練を開催
赤十字ポスターコンクール入賞作品が決定!
世界中の紛争、災害、病いに苦しむ人々に
熊本から天草・雲仙・長崎を巡る2泊3日
安全で安心な医療が受けられるために
講習のご案内





赤十字奉仕団

県内各地で 地域赤十字奉仕団員研修会を開催

地域赤十字奉仕団は、「苦しんでいる人を救いたい」という赤十字の使命のもと、



災害救護活動、献血にかかわる活動、講習に関する活動、高齢者福祉に関する活動など、広範な分野におよぶ活動を地域に密着して実践しています。兵庫県支部では、地域の最前線で活動する地域赤十字奉仕団の皆

さまに、赤十字への理解を深め、今後の活動のさらなる充実につなげていただくために、必要な知識や技術を身に付けていただく研修会を毎年開催しています。本年は県内6カ所で開催し、「災害への備え」をテーマに、講義、非常食づくりと試食、心肺蘇生法とAEDの使い方の実技などに取り組んでいただきました。

開催日	開催地域	参加人数
10月 3日	淡路	21人
10月 5日	但馬	24人
10月11日	丹波・北播磨	26人
10月13日	西播磨	33人
10月17日	東播磨・中播磨	29人
10月19日	神戸・阪神	83人



赤十字ボランティア

平成29年度赤十字防災ボランティア総合訓練を開催

10月15日、兵庫県支部で赤十字防災ボランティア総合訓練を開催。

防災ボランティアリーダー、サブリーダー6人が中心となり、特別奉仕団員や防災ボランティア、看護専門学生等31人が参加しました。本訓練では、ドラッシュテント(※)の設営や大釜を使った非常食作り、様々な場面で役立つロープワークについて学びました。参加者からは、「一度だけでなく繰り返し参加することで、自分の身は自分で守ることができるようになって実感した。」などの感想が聞かれました。

※断熱性、遮光性に優れたフレーム一体式のテント。設置しやすく、冷暖房機能も備えたテントです。



ロープワークに取り組む参加者



ドラッシュテントを展開中



青少年赤十字

赤十字ポスターコンクール入賞作品が決定!

日本赤十字社兵庫県支部では毎年、兵庫県内の小・中・高・特別支援学校を対象に「赤十字ポスターコンクール」を実施しており、今回は77校546作品の応募がありました。10月16日、厳正なる審査の結果、59作品が選ばれました。入賞者には11月15日に開催します「平成29年兵庫県赤十字有功章等贈呈式」で表彰状等が贈呈されます。受賞作品は、当支部ホームページでご覧いただける他、県内各地での展示も予定しています。



最優秀作品

神戸市立摩耶小学校5年 江口真央さん



国際活動

世界中の紛争、災害、病いに苦しむ人々に

姫路赤十字病院の津田香都看護師が9月27日から10月27日までバングラディシュ南部避難民救援に派遣されました。

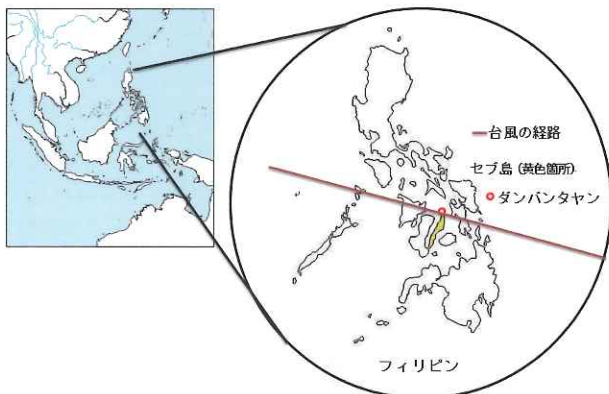
8月下旬からのミャンマー・ラカイン州の混乱から、バングラディシュへ避難する人びとは58万人以上にのぼっています(10月17日現在・国連発表)。バングラディシュ赤新月社の医療班による巡回診療やボランティアらによる懸命な救援活動が続けられていますが、避難民の急増にともなう栄養不足や衛生状態の悪化から、とくに妊産婦や子ども、お年寄りといった災害弱者の健康状態の悪化が懸念されています。日本赤十字社では9月16日に派遣した先遣隊の調査をもとに、国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)を通じて、巡回診療型ERUを派遣し、現地赤新月社の医療活動を支援して避難者キャンプ等の巡回、診療等を行っています。津田看護師はバングラディシュ南部、ラカイン州近くのココスガザールなどで「こころのケア」を担当しました。



日本赤十字社では、2013(平成25)年11月にフィリピン中部を直撃した台風30号「ハイヤン」による甚大な被害に対し、発生直後からの緊急医療救援活動、その後のセブ島北部における住居・保健・水衛生・生計・防災の5分野を軸とした復興支援活動(2016(平成28)年末をもって完了)を実施し、引き続き現在は地域社会の保健衛生の向上を

目指して、新たな地域開発支援活動を実施しています。

このたび、この地域開発支援活動の一環として、フィリピン共和国における保健教育、保健医療サービスの拡充のため、神戸赤十字病院の田村由美看護師が9月16日から約半年間、フィリピンのセブ島ダアンバンタヤンに派遣されました。



12月1日から「NHK海外たすけあい募金」が始まります

日本赤十字社は、12月1日～25日まで「NHK海外たすけあい募金」を実施します。紛争や自然災害、飢餓、病気などで命の危機に直面している人々を救うため、日赤が毎年NHKと共同で実施しているキャンペーンです。皆さまの温かいご協力をお願いいたします。

兵庫県内主要駅で街頭募金を呼びかけます

12月 2日(土)	JR芦屋駅	いずれも 13時から15時まで
3日(日)	JR神戸駅	
9日(土)	JR三ノ宮駅	
16日(土)	JR姫路駅	

特設サイト：<http://jrc-tsudukeru.jp/>





熊本から天草・雲仙・長崎を巡る2泊3日

～兵庫県日赤有功会が視察旅行～

10月11～13日、日頃から赤十字活動に多大なご支援をいただいている兵庫県日赤有功会の皆さまが赤十字活動への理解を深めるとともに、親睦を深めるため、視察旅行に出発しました。

今回は、熊本地震の被災地を支援するという意味を込めて、震災により大きな被害を受けた熊本県への訪問をはじめ、天草や雲仙、長崎を巡りました。

熊本では、日赤熊本県支部で熊本地震災害での救護活動や日赤発祥にまつわる歴史についてのお話を聞き、その後、再建途中の熊本城の見学も行いました。

また、雲仙では雲仙岳災害の被害を後世に伝える施設を訪れ、疑似体験を通して自然の驚異と災害の教訓を学びました。

その他、心癒されるイルカウォッチングや雲仙地獄めぐり、稲佐山展望台、出島、歴史文化博物館も訪れ、また、美味しい郷土料理を味わうなど、自然と歴史や文化、食に触れ、参加した皆さまも自然と打ち解け合うとても有意義な旅行となりました。



熊本県支部で熊本地震等の話を聞く有功会員



赤十字病院

安全で安心な医療が受けられるために

～姫路赤十字病院が病院機能評価を受審～

9月12～13日、姫路赤十字病院が病院機能評価「3rdG:Ver.1.1」(第三世代)を受審しました。病院機能評価とは、組織全体の運営管理および提供される医療について、「日本医療機能評価機構」が中立的、科学的、専門的な見地から評価を行い、評価を通じて病院の質改善活動を促していくものです。

今回は、従来よりも患者中心のチーム医療が行われているかを重視した審査になりました。審査員に対して実際の症例を通じて、医師・看護師だけでなく薬剤師、検査技師なども受診・入院・治療・退院と流れに沿った当院の医療提供について説明後、各部署の訪問調査時にも説明を行いました。

機構からの評価結果通知はまだ先になりますが、当日の講評では、私たちの日々の取り組みやチーム医療の実践を高く評価していただきました。



外部監査員に説明をする様子



講習のご案内

～家族のために、地域のために、そして自分のために～

救急法基礎講習

1/6^①
13:00～17:30

救急法基礎・救急員養成講習
(3日間受講)

1/20^①・21^②・27^③
9:30～17:30(初日は13:00～)

幼児安全法支援員養成講習
(2日間受講)

1/13^①・14^②
9:30～17:30

◇申込期日は開催日(初日)の1カ月前前までです。◇会場は日本赤十字社兵庫県支部です。

お問い合わせは、お電話またはホームページで ☎ 078-241-1499 (講習係)

赤十字 兵庫

検索

いのちと健康を守る赤十字活動は、
皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています

活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます



口座記号番号：01110-0-1136

口座加入者名：日本赤十字社兵庫県支部

※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。